



214 2026年10月

カリエロ CAGLIERO 11



サレジオ会宣教ニュース

サレジオ会宣教部門による
サレジオ会共同体・サレジオ・ミッションの友人のための通信

友人の皆さん、

養成部門の新しいメンバーとして本部の事務局に加わることは、自分の視野を広げてくれる贈りものです。ここで暮らすことによって、ドン・ボスコの目と心で全世界を見渡すことができます。同時に、新たなことを一から始めることは、大きな挑戦でもあります。「新しい」ということは、私たちの養成が決して到達することのない目標であること、新しさと驚きに満ちた継続的な旅であることを、毎日思い起こさせてくれます。何度でも新たに始めようとする意欲は、キリストの弟子、使徒の特質であるべきです。実に、養成とミッションは、手に手を取って進みます：日ごとに形作られようとする開かれた心がなければ実りある宣教もなく、他者に向かって、特に最も助けを必要とする他者に向かって私たちが衝き動かすことのないような真の養成もありえません。

この「初心者的心」を大事にするよう、皆さんを招きます。神の新しさにいつも開かれていることによって、私たちはまことの宣教者となるのです。

Peter Timko

■養成部門 新メンバー
ピーター・ティムコ神父, SDB

第157回宣教派遣

2026年10月17日土曜日、ヴァルドッコ、総長により派遣
新たな宣教派遣、15名のメンバー

N°	出身 管区	出身国	氏名	派遣先 管区	派遣先の国 ・地域
1	ACC	コンゴ民主共和国	S. MUAMB' A KONGOL, Jean Paul	IME	AKM*
2	ACE*	コンゴ民主共和国	S. MUGISHO CIRIMWAMI, Flavien	PER	ペルー
3	AFC	コンゴ民主共和国	S. KALAMBILWA ILUNGA, John	PAR	パラグアイ
4	AFC	コンゴ民主共和国	S. CHAMA BESA, Elisée	POR	カポヴェルデ
5	AFE	ケニア	L. ANDITI, Alvin Peterson	SLO	ギリシャ
6	AOS	ガーナ	S. IMPRAIM, Joseph Gilen	THA	カンボジア
7	ARN	チリ	L. AGUILERA REBOLLEDO, Isaac	POR	カポヴェルデ
8	BCG	ブラジル	S. GOMES BELMELLO, Henrique	IRL	アイルランド
9	INC	インド	P. GOMES, Tushar	SLO	ギリシャ
10	INS	インド	P. KHARDEWSAW, Shanborlin	MOR	中東
11	KOR	韓国	S. MINSU JING, Moses	PGS	バヌアツ
12	MDG	マダガスカル	S. TIANJANAHARY FANEVASOA, Jean Gaëtan	IME	AKM*
13	TLS	東ティモール	L. XIMENES DA COSTA, António de Anunciação	THA	カンボジア
14	VIE	ベトナム	S. PHAM DUC, Hanh Joseph	PAR	パラグアイ
15	VIE	ベトナム	S. NGUYEN HOANG, Duy Linh Paul	PER	ペルー

AKM* 「アルバニア・コンボ・モンテネグロ」委任地区

ACE* 「アフリカ-コンゴ東」(ゴマ) 準管区

L-修道士 | P-司祭 | S-神学生

出身地域

中央-西アフリカ 5名；東アジア-オセアニア 4名；東-南アフリカ 2名；南米サウスコーン 2名；南アジア 2名；中央-北ヨーロッパ 0；インターアメリカ 0；地中海 0

派遣先地域

地中海 5名；中央-北ヨーロッパ 3名；東アジア-オセアニア 3名；南米サウスコーン 2名；インターアメリカ 2名；中央-西アフリカ 0；東-南アフリカ 0；南アジア 0

！ 新宣教師の出身と派遣先を表す地図をメールで直接受け取りたい方は、
cagliero11@sdb.org へご連絡ください。 ！

Cagliero11 (カリエロ11) の全バックナンバー：http://salesians.jp/library/cariero

自らも傷ついた、癒す人： 希望を守る使命



10月17日に9か所の新たな宣教地へと出発する15名の新宣教師のリストを提示しながら、一つの言葉が心に湧きあがります：「ありがとう」。宣教師たちの進んで仕えようとするところざしは、教会のため、サレジオ会のため、そして何よりも青少年のための希望のしるしです。彼らの「はい」は、恐れを乗り越え、限らない宣教の寛大さを自らのものとして生きようとする招きです。

同時に、この新たな宣教派遣は、第29回総会が光を当てた最も差し迫った挑戦の一つを私たちに提示します：若い世代と宣教師自身の精神とこころの健康へのケアです。最近、アマゾンにおける私たちの宣教地を訪問した際、農村部の若者の自殺についてその衝撃的な数を何人かの司牧者が分かち合ってくれました。その数の背後には、文化的な根無しの状態、アイデンティティーの喪失、機会の不足、暴力、依存症などがあります。しかしそれは、アマゾンに暮らす人々に限られた現実ではありません。大都会に暮らす多くの若者、インターネットに絶えずつながり、結果を出さなければならないプレッシャー、絶え間ない競争、不安定な仕事、家庭にかかわる深い傷を負う若者たちの状況はどうでしょうか？異なる環境でありながら、しばしば同じもろさを、聞いてもらいたい、支えてもらいたいという同じ望みを生じさせています。教皇レオ十四世は回勅『人間の偉大さ Magnifica Humanitas』で、デジタル時代にあって、孤独、孤立に深く悩み苦悶する「人間を守る」よう招きます。この呼びかけはサレジオの宣教家族にも挑戦を投げかけます。一人ひとりが帰属意識と支えられているという感覚を体験できる場となる共同体を築くように；批判精神、自由な精神をもって、落ち着いてソーシャル・メディアを活用する教育を行うように；仕事、休息、祈りのバランスを育てるように；確固とした姿勢で予防と支えに力を入れるように；アイデンティティー、困難にくじけない粘り強さ、希望を強めるようなインカルチュレーションの歩みを促進するように、私たちは呼ばれています。

親愛なる宣教師たちに、もう一度言いたいと思います：皆さんの寛大なこころに**ありがとう**。同時に、呼びかけます：決して忘れないでください、私たちは、しばしば言われているように、「**自らも傷ついた、癒す人**」です。自分自身も世話してもらうことを受け入れられるようにならないかぎり、誰も人に寄り添うことはできません。

どうぞ自分を大切にしてください。人を大切にしてください。皆さんの共同体を、人々を温かく迎える和解と癒しの場とし、真の**出会いの文化**を建設する人になってください。キリスト者の扶けマリアが皆さんをマントのうちに包んでくださいますように、ドン・ボスコが、愛されるためにこころを開くことを今いちど教えてください、すべての若者一人ひとりが愛されていると感じ、イエスが約束されたように「**豊かにいのち**」(ヨハネ 10・10) を得るために。

■ 宣教顧問 ホルヘ・マリオ・クリサフッリ神父, SDB



ホルヘ・マリオ・クリサフッリ神父, SDB

〔略歴〕

ホルヘ神父は現在、最高評議会の**宣教顧問**。アルゼンチンのパタゴニアに生まれ、英語圏西アフリカのガーナ、シエラレオネ、ナイジェリアで**30年間宣教師**として働き、特に**弱い立場に置かれた子ども、若者の教育と保護**に献身。西アフリカ準管区の副管区長、青少年司牧担当者を務め、その後、管区長、シエラレオネのNGOドン・ボスコ・ファンブールの責任者、新たに創設された**ナイジェリア-ニジェール管区ANNの管区長**を務めた。



フ 現代の若者、こころの健康のデータ (2025年、ユニセフ)

オ 世界では、十代の若者の7人に1人（14％）が診断されるような精神疾患を抱え、Z世代の40％ほどが、こころのサポートが必要だと言っている。

北アメリカ：世界で最も高い22.8％の若者が精神疾患を抱えている。

ヨーロッパ：10－19歳のうち16.3％が問題を抱え、西ヨーロッパは北アメリカ、太平洋と並んで最も高い数値を示す地域である。東地中海：不安障害の若者の割合が14.6％と最も高い地域。

ラ アフリカ：11.4％が不安障害；サハラ以南のアフリカでは、こころの病を患う若者が11.6％に及ぶ。

ム ラテン・アメリカとカリブ海：不安障害の若者が最も多い地域の一つ、北アメリカや西ヨーロッパに似た状況がある。

南アジア：こころの病全般、9.7％ 東南アジア：不安障害の若者の割合が最も低い3.8％。

10月
サレジオ
宣教の
祈りの意向

こころの健康

こころの病・困難を抱える人々への司牧的な世話
(教皇レオ十四世の祈りの意向)

教会全体に、こころの健康のために働く奉仕職が確立するよう、祈りましょう。こころの病を抱える人々が受ける偏見、差別を乗り越える助けとなりますように。

(サレジオ会の宣教の祈りの意向)

ポルトガル

